

巣箱づくりと野鳥観察の実施

4月27日（火）愛鳥週間（5月10日～16日）を前に、巣箱づくりと野鳥観察を酒田市の西荒瀬保育園の園児と保護者が行いました。

これは、西荒瀬保育園が取り組んでいる「みどりの保育園」推進事業の一環として実施したものです。

当日は春の日差しが時より注ぐ天気でしたが、38名の園児と20名の保護者が保育園の遊び場に集まり、巣箱づくりにチャレンジしました。

巣箱づくりを行う前に、庄内森林管理署と西荒瀬保育園で協定書を結んだ遊々の森「しんちゃんの森」の看板の序幕式を園児達が行い、関係者全員で看板設置を祝いました。

巣箱づくりに当たっては、組み立て方を各グループ（園児と保護者の混合チーム）のみみんなで考えて作ることになり、制作の指導者として、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員と庄内森林管理署及び遊佐森林事務所職員がそれぞれのグループに1名入り行いました。

各グループでは、どのようにして巣箱を組み立てるか、園児と保護者が話し合いを行いました。

釘打ちでは、金槌の扱いに慣れていない園児もいましたが、保護者や指導者の力も借りて、園児全員が力強く釘打ちをし7個の巣箱が完成しました。

完成した巣箱には、園児達がマジックを使い、思い思いに絵を描き、小鳥が家として利用してくれることを願いました。

次に「しんちゃんの森」で野鳥観察を行いました。

野鳥観察では、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター青山所長からこの時期に見られる野鳥（シジュウカラ、カワラヒワ、アカゲラ）のイラストを交えての説明を聞きました。

野鳥観察を行うあたりから風が強く吹く始め、生憎、野鳥たちが姿を現しませんでした。カワラヒワ、ヒヨドリ、ツグミの鳴き声を園児達が聞き、さらに、西荒瀬保育園の先生が昨年取って置いたホオジロの巣と卵を見て歓声が上がり、「しんちゃんの森」の豊かさを園児達が感じていました。

巣箱の設置については、風が強く吹き始めたことから、午後から朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員と庄内森林管理署及び遊佐森林事務所職員が設置しました。

